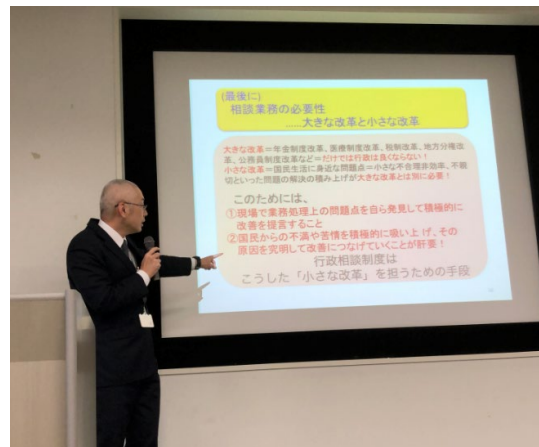


福知山公立大学で出前講座を開催しました

福知山公立大学では、地域協働論（担当：杉岡秀紀准教授）で行政相談についての特別公開講座が行われ、京都行政監視行政相談センターと福知山市担当の行政相談委員から行政相談についての紹介を行いました。

日時 平成30年12月4日（火） 8時50分～10時20分
場所 福知山市公立大学 4号館101教室
出席者 学生約70名
講師 京都行政監視行政相談センター 西川八郎所長 森川竜城主任行政相談官
福知山担当行政相談委員 中道正、安達賢治、井上正暉、岡垣要、荒木正典

西川八郎所長の挨拶に続いて、森川竜城主任行政相談官から行政相談委員制度についての説明や「あっせん」について詳しく説明されました。



説明する森川主任行政相談官

福知山市担当の行政相談委員が、福知山市の紹介や行政相談委員として取り組んでいる広報活動や出前教室、今迄に取り扱った事例と解決に向けての取り組みなどを紹介しました。



中道委員(右)



井上委員



安達委員(右)



岡垣委員(右)

受講した学生は講義後に12グループに分かれてのワークショップで「福知山で生活していて困ったこと」をテーマに身近な事例を出し合い、グループの代表から「困っていること」や「危険に感じていること」などの発表がありました。

学生の意見の取りまとめを拝見すると、「信号のない交差点や五差路が多く危ない」「死角があるカーブミラーがある」などの意見が出されていました。一方、行政相談制度について良く判った。行政相談委員の活動を初めて知ったという学生も多く好意的な感想も頂きました。

昨年に引き続いての同大学での出前講座ですが、京都行政監視行政相談センターのご協力をいただき、今後とも継続した取組みに出来ればと思っております。

当日の講義の様子は、福知山公立大学のホームページにも掲載されました。

報告者 HP委員 井上正暉